

R8.6月 学校朝会（校長講話他）

令和8年6月2日（火）、運動会も先週末に終わり、新たな気持ちでスタートをきる6月。昨今話題にもなっている生成AIについての話がありました。



生成AIは便利な道具だけれど、物知りだけれども、間違えることがあること。

上尾市では、学校のタブレットを使って生成AIを使用してはいけな
いことについて話をしました。

【校長】

- この便利なAIですが、実は皆さんのような小学生は、今はまだ一人で使うことができません。それは、AIが言っていることが「本当かウソか」を、自分だけで見分けるのがとても難しいからです。包丁や火が便利な一方で、使い方を間違えると危ないのと同じで、AIも「正しく使うための力」が必要なのです。～略～
- なぜかという、皆さんのような子供の時期は、AIから答えをもらうことよりも、自分の手や足を使って動いたり、友達と相談したりして、『自分だけの考える力』を育てることの方が、AIを使うことよりもずっと大切で、価値があるからです。ですから、中学校や高校に行って、自分自身で正しいかどうか判断できるようになった時、正々堂々と使いこなせるようになってほしいと思います。」



6月朝会 校長先生の話

将来の「達人」になるために
～生成AIって知ってる？～

令和8年6月2日
上尾市立上尾小学校

**将来、
AIを使いこなす
「達人」に！**

準備①

「本当かな？」と疑う心



準備②

「自分の言葉」で伝える力



準備③

「豊かな体験」をしよう



- 「達人」になるための練習、1つ目は「本当かな？」と疑う心を持つことです。
- 本に書いてあること、テレビで言っていること、友達から聞いたこと。
- それをそのまま信じるのではなく、「本当かな？」「別の考え方はないかな？」と、自分の頭で一度立ち止まって考える癖をつけてください。

- 2つ目は、自分の心で感じたことを「自分の言葉」にすることです。
- 「うれしい」「悲しい」「不思議だな」。AIは心の底からこれらを感じることはできません。
- 皆さんが作文を書いたり、お友達と話し合ったりして、自分の気持ちを言葉にする力こそが、将来AIに正しい指示を出すための大切な力になります。

- 3つ目は、外に出て、自分の目、耳、鼻、手を使って「体験」することです。
- 6月の雨の匂い、紫陽花のざらざらした手触り、カエルの鳴き声。
- これらは、画面の中のAIには絶対に分からないことです。
- たくさんの本物を知っている人だけが、AIが出した答えが正しいかどうかを見抜くことができます。



皆さんの心の中には「考える力」という最強のエンジンがある。
将来、達人になるために、今のうちに「自分の頭」を使って力をつけていきましょう。
としめくりました。

今月の生活目標

用具を正しく使い 黙働清掃をしよう

●今月の生活目標の話では、イラストを使って、ほうき等の正しい使い方について考えました。



●児童は、自分たちの日頃の掃除の仕方、掃除用具の使い方を想起しながら、クイズに楽しく答えていました。



自分たちの使う学校をみんなできれいにしていきましょう。